

參觀資料

◎ 国家人權博物館籌画処

執務時間：月曜日～金曜日／09:00～18:00
所在地：23150 新北市新店区復興路131号
電話：+886-2-22182438

◎ 綠島人權文化園區

所在地：95142 台東縣綠島鄉將軍岩20号
電話：+886-89-671095
開放時間：月曜日～日曜日／09:00～17:00

◎ 景美人權文化園區

所在地：23150 新北市新店区復興路131号
電話：+886-2-22182438
開放時間：火曜日～日曜日／09:00～17:00

※一律入場無料

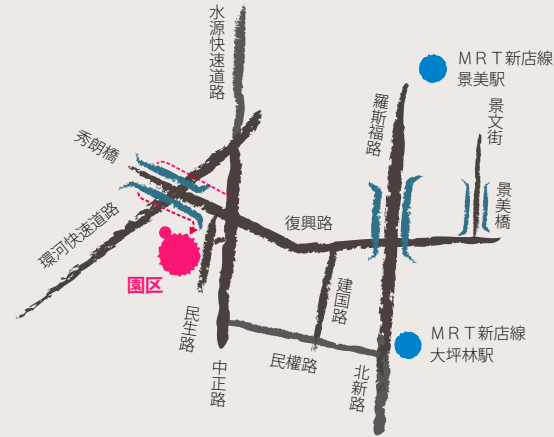
エリア案内

◎ 綠島人權文化園區

定時案内：
5月～9月は1時間毎に1回
午前／08:30～11:30
午後／14:00～17:00
10月～4月は1時間毎に1回
午前／08:30
午後／14:00～16:00
案内予約は1日前に電話で予約して下さい。
電話番号は+886-89-671-095
学校、諸団体の予約を歓迎。

◎ 景美人權文化園區

定時案内：
午前／10:30；午後／14:30
予約電話：+886-2-8219-2692
予約は1週間前をお願いします。
学校、諸団体の予約を歓迎します。
※英語、日本語でのご案内を致しています。



交通案内

歩行

MRT新店線大坪林駅の1号出口から民権路に踏み入り、次の十字路で右手の建国路を真っ直ぐ行って、二つ目の赤信号下復興路で左へ曲がって行くと、次の信号灯の向い側に秀朗橋入り口が見える、その左側に有刺鉄線を張り巡らした高塀の中が園区で、駐車場が隣合っています。

バス利用(莊敬中学校経過のコースに限る)

1. MRT新店線大坪林駅の1号出口の向い側で、918号車、緑3号、5号車。
2. 同駅の4号出口で緑10号車。

※何れも莊敬中学バス停で下車、園区はその裏側にあります。

自家用車

A.南下コース(台北市から)

- (1) 羅斯福路を新店区方向に、MRT大坪林駅前で行って、民権路上の交差点で右回りして、秀朗橋の袂に沿って行き、中頃で橋の下をくぐり抜けてユータンすると、園区の玄関と駐車場が隣り合っているのが見えます。
- (2) 水源快速道路
新店行き出口からおりて、中正路を真っ直ぐに復興路上の交差点で右回りして、秀朗橋の袂に沿って行き、中頃で橋の下をくぐり抜けてユータンすと園区の玄関と駐車場が隣り合っています。

B.北上コース

- (1) 新店区北新路三段(台北市向き) MRT大坪林駅前左手の民権路を経て、建国路との交差点で右回りして復興路まで進み、信号灯下で左に折れて行くと、次の信号灯下に秀朗橋の入口に突き当たる、橋の袂に沿って行き、中頃で橋の下をくぐり抜けてユータンして進むと駐車場と隣り合っている園区の玄関が見えます。
- (2) 環河快速道路(台北市向き)の交流道を下りて、溪園路を経て復興路上右側の秀朗橋の袂に沿って行くと、園区の玄関と駐車場が隣り合っているのが見えます。
- (3) 大型観光バス：コース方向(2)頂と同じ。
- (4) ハイウェイ：国道3号安坑交流道を下り、左廻りして環河路(台北市向き)から溪園路をすすみ、復興路上の秀朗橋に突き当たる、右廻りして橋の袂に沿って行くと駐車場園区の玄関が隣り合っているのが見えます。

国家人權博物館 | 籌画処

所在地 | 23150 新北市新店区復興路131号

電話 | +886-2-22182438

Fax | +886-2-22182436

Network | www.nhrm.gov.tw

Facebook | www.facebook.com/JMHRI

翻譯者：郭振純



Network



Facebook



成立

「国家人権博物館籌画処」は2011年10月19日に成立し、2011年12月10日正式に看板を出して運営を始めました。

本処の管轄下には、「景美人権文化園區」と「緑島人権文化園區」があり、双方共過去に於ける「白色テロ時期」の最も重要な史跡で、無数の受難者とその家族の生命に係る故事や思い出が承伝されています。

中華民国が民主体制に踏み切った事を明かす重要な場所であると共に、人権教育を推進する絶好の場所でもあります。



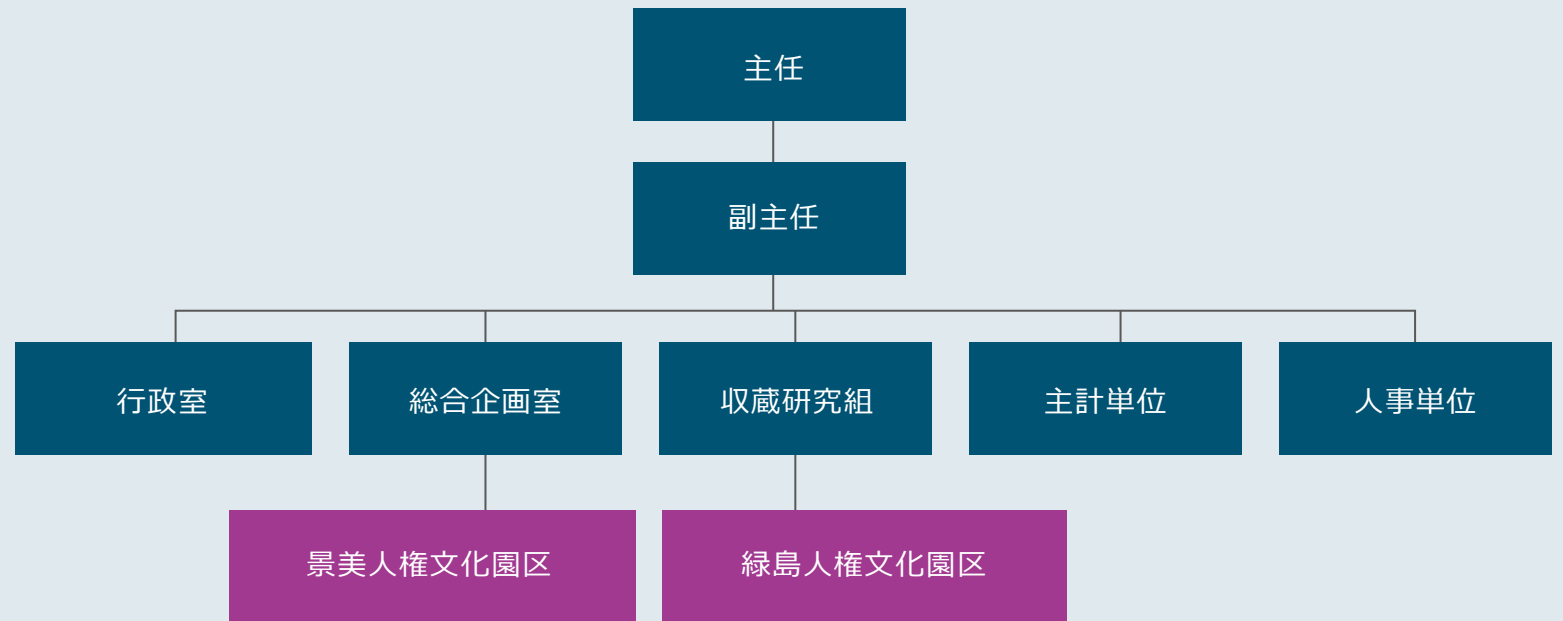
位置付け

「国家人権博物館」は緑島及び景美兩人権文化園區が現出する「政治人権」を核心とした、現地保存型博物館の方向に向って企画、経営する方針であります。

現段階の業務

本処に於ける業務の重点は、政治受難者の口述歴史の取材工作、史蹟の復原、人権史料収蔵文物の研究及び人権教育の普及と展示の企画、そして、積極的に国内外の博物館、人権運動諸団体と交流を進める等で、台湾の人権発展運動の成果を厚く累積して行く姿勢であります。

組織体系



景美人権文化園區

新北市に位置し、およそ3.64ヘクタールの面積を占める機構であります。従前は台湾警備総司令部所属の軍事裁判所拘置所で、戒厳時期に政治犯を勾留、起訴、裁判し、更に刑の執行を代行した場所であります。

現在の主要業務は、現場の保存、档案、文物収集、収蔵文物の研究、並びにこれ等史料の流失を防止する。一方積極的に史料展示の企画と人権教育の推進であります。



緑島人権文化園區

緑島の東北角に位置し、およそ3.2ヘクタールの面積を占める機構であります。従前は国防部緑島感訓監獄として、白色テロ時期に既決政治犯の刑を執行していました。

園區当面の主要業務は、現場を維持し、穢れた文化遺産見学の見学地として発展することをくろみ、人権史、平和文化と島嶼生態を発展方向の主軸として、研究、教育の普及を遂行する事に専念しています。